

ゴールドマン・サックス・ギブズ・コミュニティ支援プログラム

『全国若者自立支援プロジェクト』報告書

～社会的養護が必要な子どもの自立支援ネットワークづくり～



【主催】 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京ボランティア・市民活動センター

特定非営利活動法人 NPO STARS

【協賛】 ゴールドマン・サックス・ギブズ

はじめに

社会福祉法人東京都社会福祉協議会が運営する東京ボランティア・市民活動センターと特定非営利活動法人 NPO STARS は、2023年度から2年間にわたり、各種児童福祉施設や関係団体の皆さんが集まる『全国若者自立支援プロジェクト』を全国および8ブロックで実施しました。協賛は世界的な金融機関であるゴールドマン・サックス社です。その2年間の取り組みについて、また、そこから見えてきた自立支援の課題や各地の実践について、本書でご報告させていただきます。社会的養護が必要な子どもたちのために日々奮闘されている方々の少しでも力になれば幸いです。

そして、今から15年前になりますが、2010年9月に、東京ボランティア・市民活動センターを運営する東京都社会福祉協議会は、ゴールドマン・サックス社と協働し、当時、児童福祉施設から4年制大学に進学することが難しい状況の中で、『進学支援プロジェクト』を立ち上げました。本プロジェクトでは、希望する大学に行けるだけの奨学金の支給とともに、施設とケースワーカーによる両輪での伴走、子どもを支援する NPO との連携、社員ボランティアの参加という「人による支援」に取り組んできました。こうした奨学金が2020年度に国の制度となり、翌年からは全国の児童福祉施設に自立支援担当職員が配置できることになったことにより、本センターのパイロット・プロジェクトとしての役割は終わりました。そこで、の皆さんと相談し、子どもたちの自立支援における施設間・地域間の格差をなくすためのネットワークづくりが必要ということになり、今回の『全国若者自立支援プロジェクト』がスタートしました。

本プロジェクトの実施にあたっては、NPO STARS のメンバーを始め、全国各地の施設の皆さんに運営・企画委員になっていただきました。1年目は全国および8ブロックにおいてオンライン会議で、2年目は8ブロックにおいて対面形式で実施し、総勢 1,149 名(946 団体)の方々にご参加いただき、多くの「出会い」や「つながり」が生まれました。お忙しい中のご協力・ご参加、本当にありがとうございました。

文末になりましたが、15年間の長きにわたり、社会的養護が必要な子どもたちのために多大なるご支援をいただいていますゴールドマン・サックス社に心より感謝申し上げます。

2025 年 4 月

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会
東京ボランティア・市民活動センター
所 長 山 崎 美 貴 子

ごあいさつ

本報告書は、東京ボランティア・市民活動センター、特定非営利活動法人 NPO STARS(以下 STARS)のご協力のもと、2023年から2025年にかけて実施された『全国若者自立支援プロジェクト』の活動内容と成果をまとめたものです。まず、はじめに、本プロジェクトの企画・運営、そしてこのような素晴らしい報告書の作成にご尽力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

ゴールドマン・サックスは企業としての社会的責任を果たすべく、様々なコミュニティ支援活動を世界中で行っています。日本でも社員によるボランティア活動や NPO 法人への資金援助を続けています。様々な活動を通じて私たちが着目したのは、日本における子どもの貧困率が先進国の中でも高い水準にあることでした。少子高齢化が進む日本では、子どもの貧困の課題解決を支援することは重要な社会的投資であり、中でも教育の果たす役割が大きな鍵のひとつであると考えました。

そこで2010年より東京ボランティア・市民活動センターのご協力のもと、ゴールドマン・サックス・ギブズ・コミュニティ支援プログラムを立ち上げ、児童福祉施設の子どもたちの大学への進学支援プロジェクトを開始しました。このプログラムを通じて多くの子どもたちが大学に進学していきましたが、同時にサポートしてきた子どもたちが大学進学後に様々な課題に直面する現実と、それを解決するためにはアフターケアの強化が必要であることを知るようになりました。そうした背景から東京ボランティア・市民活動センターと STARS のご協力で立ち上げたのが『全国若者自立支援プロジェクト』でした。児童福祉施設の職員の皆さんがそれぞれの経験や情報を共有しながら、子どもたちの自立支援に連携して取り組めるようなネットワークづくりを目的としたこの2年間のプロジェクトの成果がこの報告書です。

子どもの貧困問題は簡単に解決されるものではありませんが、草の根レベルで支援の輪が広がっていることを感じています。このプロジェクトに参加された全国の児童福祉施設の方々が様々なつながりや気づきを得て今後の活動に生かし、一人でも多くの子どもたちを支えていただければ大変うれしく思います。

本プロジェクトの推進にあたり、ご協力くださった関係者の皆様には、改めて心よりお礼申し上げます。本報告書が子供たちの未来を支える支援の在り方を考える一助となれば幸いです。

2025 年 4 月

ゴールドマン・サックス証券株式会社
取締役 上田 彰子

《団体紹介》

◆東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)はボランティアや NPO の活動や企業の社会貢献、災害ボランティア活動などを支援しており、社会福祉法人 東京都社会福祉協議会が運営しています。世界的な金融機関であるゴールドマン・サックス(GS)社と協働し、2010年より児童福祉施設の子どもたちの4年制大学への進学支援を実施しています。

※QRコードをご参照ください。



◆特定非営利活動法人 NPO STARS(エヌピーオー スターズ)は、日本各地の児童福祉施設で働く職員で構成されるネットワーク組織です。知見と実践力を兼ね備えた人材育成を目指し、社会貢献することを活動理念としています。2023年に設立10周年を迎えると共に、全国各地に会員が在籍している強みを活かし、今、目の前にある社会課題の解決に向けて、児童福祉等の専門機関・行政機関・異業種等と協働しながら、各種セミナーやイベントを企画・運営しています。

※QRコードをご参照ください。



◆ゴールドマン・サックスは、子どもの貧困解決に向けた支援は日本の持続的成長と地域発展のための重要な社会的投資だとの考えから、15年ほど前から様々な支援を行ってきました。社会福祉法人 東京都社会福祉協議会と協働で立ち上げた「ゴールドマン・サックス・ギブズ・コミュニティ支援プログラム」を通じて児童養護施設等で暮らす子どもの進学支援を行ってきたほか、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年には、金銭的・精神的に大きな負担が及んでいる児童養護施設の退所生に支援を届けるために「アウトリーチ・プロジェクト」も立ち上げました。毎年年末には、児童養護施設で暮らす子どもたちに願いどおりの品物を届けるサンタ・プロジェクトを実施しています。

も く じ

1. 全国若者自立支援プロジェクトについて

(1)全国若者自立支援プロジェクトとは	P 1
◇運営委員・企画委員	P 6
(2)全国ネットワーク会議の報告	P 8
(3)【2023 年度】第 1 回地域ネットワーク会議(オンライン)の総括	P 15
1)近畿ブロック会議の報告と提言	P 18
2)北陸・中部ブロック会議の報告と提言	P 20
3)北海道ブロック会議の報告と提言	P 22
4)東北ブロック会議の報告と提言	P 23
5)中国ブロック会議の報告と提言	P 24
6)四国ブロック会議の報告と提言	P 25
7)九州・沖縄ブロック会議の報告と提言	P 26
8)関東ブロック会議の報告と提言	P 27
(4)【2024 年度】第 2 回地域ネットワーク会議(対面)の総括	P 29
1)近畿ブロック会議の報告と提言	P 32
2)北陸・中部ブロック会議の報告と提言	P 35
3)北海道ブロック会議の報告と提言	P 37
4)東北ブロック会議の報告と提言	P 39
5)中国ブロック会議の報告と提言	P 40
6)四国ブロック会議の報告と提言	P 42
7)九州・沖縄ブロック会議の報告と提言	P 44
8)関東ブロック会議の報告と提言	P 46

2. GS 進学支援プロジェクトについて

(1)進学支援プロジェクトとは	P 48
◇協力団体リスト	P 53
(2)関係者インタビュー	
1)奨学生 A さん「施設にいるうちに、いろいろ経験してほしい」	P 54
2)奨学生 A さんの担当職員	
「個性も環境も異なる 2 人のケースから支援の課題を考える」	P 57

3)奨学生 B さん「人を喜ばせたい！その気持ちが形になっていく」・・	P 60
4)奨学生 B さんの担当職員 「限られた入所期間中にできるだけの支援を！」	P 63
5)奨学生 C さんの担当職員 「アセスメントの重要性の再認識とアフターケアの重要性、 さらに継続的な自立へ」	P 65
6)TVAC ケースワーカーの取り組み	P 67

3.まとめにかえて

(1)運営・企画委員の振り返り	P 69
(2)まとめにかえて：未来に向けての提言	P 81

【参考資料】

(1)【実践事例】東京都の杉並学園の取り組み	P 83
(2)【実践事例】愛媛県のあすなろ学園の取り組み	P 85
(3)【実践事例】東京都における自立支援委員会の取り組み	P 87
(4)【実践事例】滋賀県社会福祉協議会の取り組み	P 90
(5)アフターケアのための社会資源情報	P 93
○社会的養護のための奨学金検索サイト『Miomus』	
○社会的養護経験者向け情報サイト『Iris』	
○NPO 法人えんじゅのネットワーク加盟アフターケア事業所リスト	
○公益財団法人あいである『実家便』	
○ひとり親家庭のための『教育費サポートブック』2024 年版	
○東京都の自立支援コーディネーターの実践報告書	
○NPO 法人 NPO STARS	
○NPO 法人 フェアスタートサポート/株式会社 フェアスタート	
○全国各地の社会福祉協議会/ボランティア・市民活動センター	
○『令和 4 年度 愛知県における児童養護施設等退所者状況把握調査 報告書』	
○つながるシステム『きずなコネット』	

